主体的で対話的な

奈良SDGs学び旅の流れ

旅マエ予習
事前学習
知る・調べる

»

旅ナカ体験
SDGsを
実感する

»

旅アト復習
自分の町を
SDGsの観点で
見つめ直す

»

ACTION
課題解決力を
身に付け
行動に活かす

ガイドと学ぶSDGs

奈良教育大学監修
ガイドブック付き

ワークシート付きで
振り返り学習も!

奈良新しい学び旅推進協議会 事務局

〒630-8305 奈良市東紀寺町2-10-1 (公社)ソーシャル・サイエンス・ラボ内

0742-20-7807 **0742-22-1503**

https://nara-manabitabi.com

manabi-jimukyoku@kirsite.com

協議会構成団体

奈良商工会議所/奈良教育大学/奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合/奈良県ビジターズビューロー/奈良市観光協会/奈良県/奈良市

奈良から始まる
新しい学び旅のスタイル

歴史にふれる

東大寺コース

森にふれる

春日山原始林コース

まちにふれる

ならまちコース

奈良新しい学び旅推進協議会 事務局

まるごと世界遺産のまち 奈良で学ぼう
奈良SDGs学び旅

課題解決力を育む

新しいスタイルのラーニングツーリズム

主体的×対話的 深い学び

奈良の歴史・文化・自然にふれて発見!

●国際交流・国際協力 ●当時の新しい技術・技術革新 ●多くの市民の賛同と行動の変化

奈良教育大学

日本で最初にユネスコスクールに登録された大学:奈良教育大学は、学校や地域においてESDを適切に計画し実践できる「ESDティーチャー」を認定している日本で唯一の大学です。

「奈良SDGs学び旅」はESDの最先端である奈良教育大学との連携でプログラム作りを進めています。

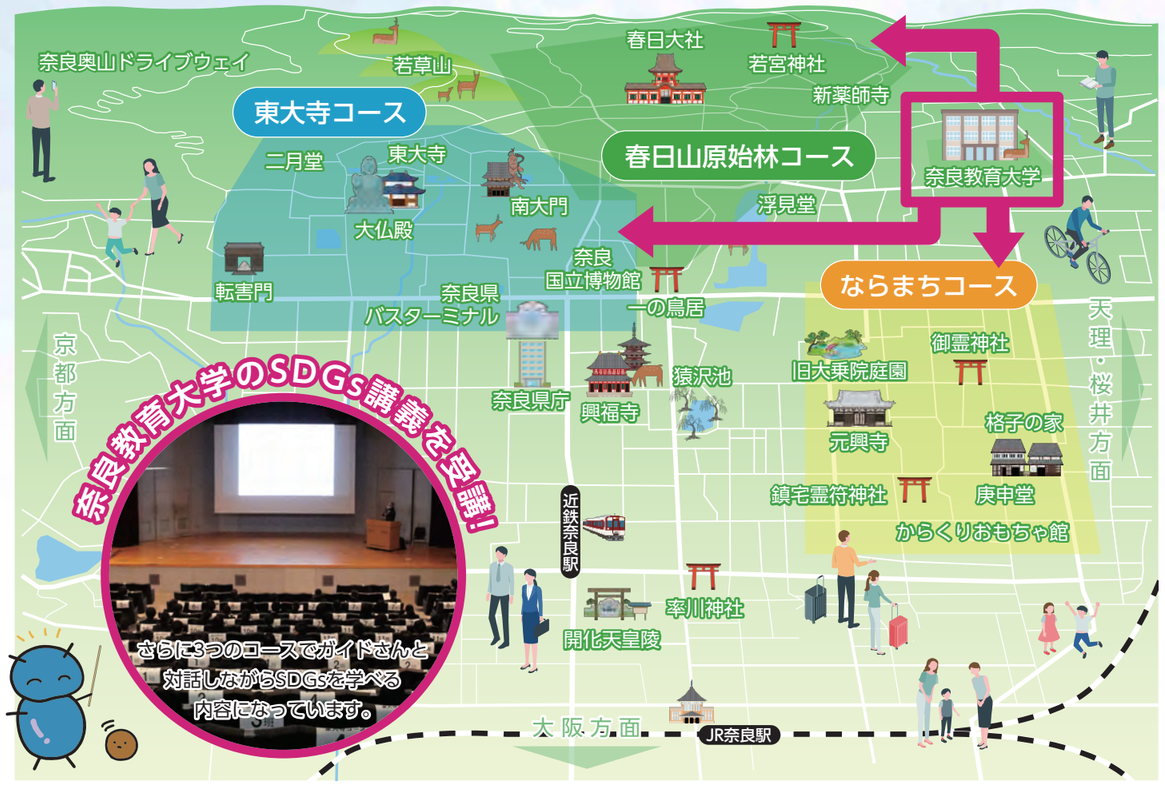
奈良で学ぶSDGs

奈良教育大学准教授
中澤静男先生

奈良に来た方が必ず見学に行くのが東大寺の大仏様です。大仏様は752年に建立されましたが、その後 2回も争いに巻き込まれて被災しています。しかし、その度に全国の人たちの協力で復興しています。一人一人の力は微々たるものですが、それが集まることで、不可能だと思われていたことを可能にしたのが当時の奈良の人たちです。私たち一人一人が小さな力を出し合えば、持続可能な社会の実現も可能になることを大仏様が教えてくれているのかもしれません。奈良には1300年前の建造物や仏像、伝統行事が受け継がれています。これらは観光資源であるばかりでなくSDGsを学ぶための教育資源でもあります。

一ヶ所に集中することなく3つのエリアに少人数・班別(ガイド同行)の時間差で広く分散

密になることなく安全にゆっくり学ぶことができます。



歴史にふれる 東大寺コース

Q.東大寺の大仏様に込められた思いとは?

A.動植ことごとく栄えんことを欲す

東大寺の大仏様が造られた奈良時代は、天然痘や大地震、さらに唐や新羅との緊張関係など、大変な時代でした。このような時代をよりよくするために、聖武天皇は大仏様造りを呼びかけました。

聖武天皇の願いは743年に出された「盧舎那仏造顕の詔」に「動植ことごとく栄えんことを欲す」と記されています。人間だけでなく生きとし生けるものすべてが栄える世の中にしたいと願っていたことがわかります。

また聖武天皇は大仏様を造る際、大きな力(権力)で造るのではなく、民間の小さな力を集めて造るという方針を打ち出し、渡来人をルーツに持つ技術者や、行基の協力などもあり、のべ260万人の人々が協力したと記録されています。この精神は後の二度の戦乱による被災からの復興の際にも受け継がれました。

モデルコース 奈良教育大学SDGs講義(45分) → フィールドワーク(120分) 大仏殿▶辛国神社▶行基堂▶二月堂▶三月堂▶南大門浮雲園地▶一の鳥居▶影向の松▶菩提院大御堂

森にふれる 春日山原始林コース

Q.都市隣接・世界遺産の森で学ぶSDGsとは?

A.人やシカとも共生できる森を保全再生していく

県庁からも徒歩圏内の原始林にはシイ・カシ類の常緑広葉樹や、スギやモミなどの針葉樹の大木が非常に多く、太古の森の風景が残っています。一方、森の中には、所々日当たりの良い場所があります。この空間はそれまであった木が倒れるなどして空いたものです。ここには、本来生えてくるべき、シイ・カシ類ではなく、シカが食べないシダやナンキンハゼが生えています。特にナンキンハゼは、昭和初期に街路樹として植えられた外来種です。現在、春日山だけでなく、奈良公園全体で増えており課題となっています。また、それ以外の地表部分は植物がほとんど生えておらず、木々の根が露出している状態です。奈良県では古都奈良の貴重な財産である春日山原始林の持続的な森林更新を促し、人やシカとも共生できる森を保全再生することを目標に、研究者や市民団体と連携して保全活動を進めています。

モデルコース 奈良教育大学SDGs講義(45分) → フィールドワーク(120分) 水谷神社▶五感で森を感じる▶洞の仏頭石▶倒木によるギャップ▶飛火野▶竹の生えたムクロジ

まちにふれる ならまちコース

Q.ならまちの町並みやまちづくりを支えてきたSDGsとは?

A.まちのみんなが助け合うしくみ

元興寺は南都七大寺にも数えられ大変栄えていましたが、平安京への遷都以降一旦廃れました。極楽堂の曼陀羅信仰により再び活気を取り戻し市民とお寺が支え合う関係を築けたことや、「庚申さん」を供養する庚申講という集まりが市民同士のコミュニケーションを生み、まちのみんなで助け合う仕組みなどができたことが、ならまちが現在まで続く要因の一つです。それ以外にも近くの猿沢池周辺がお伊勢参りの宿場町として栄えたことで、ならまちに住み着いた人々により発展した様々な産業や工業が一気に栄え、このエリアが奈良の商工業の中心地となりました。

もう一つならまちの町屋の特徴に「奈良格子」という太くて間隔の広い格子がありますが、それはシカから家を守るだけでなく、シカを傷つけないという配慮から生まれたデザインです。

モデルコース 奈良教育大学SDGs講義(45分) → フィールドワーク(120分) 奈良町資料館▶庚申堂▶奈良町にぎわいの家▶元興寺塔跡▶御霊神社▶元興寺極楽堂▶大乗院庭園文化館